
私は、レズなんかじゃない。

シェル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私は、レズなんかじゃない。

【Nコード】

N8123Y

【作者名】

シエル

【あらすじ】

私は、小学校から高校の大親友に

…恋をしてしまった。

プロローグ（前書き）

レズ物です。

レズ等に偏見がある方はみないでください。

読んで感想をくれたら嬉しいです！

プロローグ

私の名前は、今野美和子^{こんのみわこ}。

良く友達にはみわちゃんって呼ばれる。私には大好きな親友がいる。彼女の名前は、小岩美咲^{こいわみさき}。小学校から高校まで全部同じクラスの幼なじみだ。席もいつも近い。仲良しすぎて、皆にレズなんじゃないかって言われたこともある。私は…そうなたらいいなあって思ってるけどみーちゃんはそんなこと言われても引くだけで親友ってこともなくなっちゃうんだろうなあ……。

私はそれだけはイヤだった。ずーっと親友なのに、そんなことで親友じゃなくなったらイヤなもの。

だから、この想いは私の心の中にしまっておくの……私はレズなんじゃない。って……

だけどある日、私の部屋でいつも通りお話していると私は、とんでもないことを言ってしまったの。

大好きな親友

私は馬鹿だ。なんてことを言ってしまったのだろう。

みーちゃんが、「みわちゃん何か悩み事でもあるの？」なんていうから私は自分の想いをみーちゃんに伝えてしまった。昔からの付き合いだから、悩みがあるなんてことはお見通しみたいだった。

みーちゃんは黙って聞いてくれていた。

私は、みーちゃんが大好きだってこと。恋人になりたいってずっと想っていたこと。

全て、全て話してしまった。

ああ…終わった。これで嫌われたよなあ……。

美咲「それで……？みわちゃんは、どうしたいの？」

え？

美咲「私がそんなことで、みわちゃんのこと嫌いになると思ってる？話してくれて凄いいよ……」

私はその言葉に安心して泣きそうになった。

みーちゃんはなんでも私のことお見通しなんだなあ。

美和子「私はね、この事を話してみーちゃんは引くんじゃないかって怖かったの。ずっと心の中に閉まっておこうって決めてたの…でも言えてスッキリしたよ！」

ニツコリ笑った私をみーちゃんはみつめていた。
すると……

みーちゃんは、私の唇をみーちゃんの唇で塞いだ。

ビツクリした。

頭の中が真っ白になった。

長いことキスをして、2人は唇を離した。

美咲「ごめんね……？あたしもみわちゃんが大好きだよ。今日から恋人になろっか……？」

うそ……ホント？

嬉しすぎてボーッとしてしまった。

しばらくして我に返って、私はみーちゃんにギュッって抱きしめた。

美和子「大好き、大好き……みーちゃん大好き……？」

そのまま2人はしばらく抱き合った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8123y/>

私は、レズなんかじゃない。

2011年11月24日11時00分発行